

- 茶流通において、実需者からのGAP認証取得の要望や、輸出向けのオーガニックなどの認証要求が高まっている。
- 三重県において取り組んできた「環境にやさしい」、「食の安全・安心」とともにGAP等の導入の支援をすすめている。
- 「産地の価値創造を担う茶業経営体の育成」をテーマに継続的な経営・発展に生かせるGAPの導入を心がけている。

具体的な成果

- 1 勝ち残るための第三者認証の取得
GAP認証に対するニーズの増加や、輸出に必要なマーケティング力獲得のため、GAPや有機等の認証を支援する。

認証取得件数

R02年度実績 52

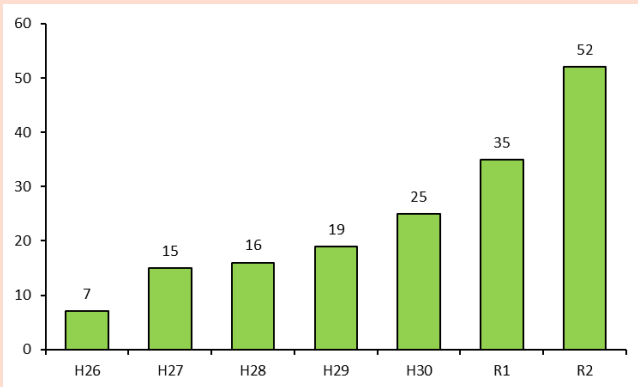
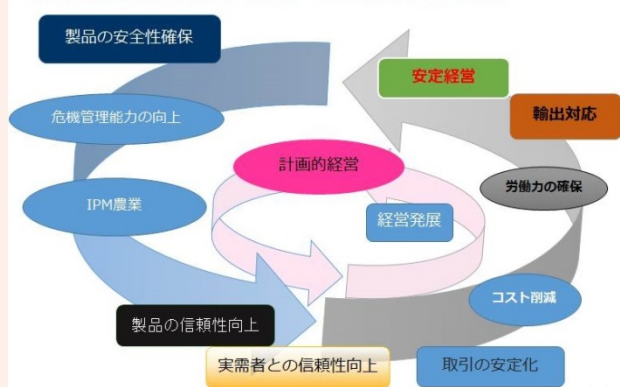


表 茶生産者のGAP認証取得件数

- 2 勝ち残る茶業経営の育成
GAP指導の目的は、継続的な農業経営発展。経営にいかせるGAP導入に取り組んでいる。

GAP導入で普及が目指すべき経営体の育成



普及指導員の活動

■過去に安全安心な伊勢茶づくり運動としてスタート。現在は、GAP導入を推進



生産者の導入支援
産地における推進体制の強化

■ワークショップを基本として、十分な議論、検討を重ねて、個々の経営に応じた生産工程管理手順を作成。→経営に生かせるGAPを導入。



■GAP指導員等研修や、生産者指導のための研修会を通じ、農協担当者等に対するGAP指導者としての人材育成を実施した。

普及指導員だからできたこと

- 認証取得のみを目的とするのではなく、経営改善に役立つ生産工程管理手順作成を目指し、十分な検討を重ねている。
- 産地における推進体制強化の支援として指導者の養成を行った。

茶のGAP等認証の導入支援

活動期間：平成27～令和元年度

1. 取組の背景

三重県の茶栽培面積、生産量、産出額はいずれも全国第3位の順位にあります。生産対策として生産者の組織化、大規模化、省力化及びコスト削減に取り組んでいますが、リーフ茶需要の減少や荒茶販売価格の低迷などにより、茶業経営は厳しくなっています。このような中、実需者からGAPの認証取得を求められるケースが増えてきました。

また、平成27年度からの普及計画は「10年後も勝ち残れる茶業経営体の育成」、平成元年度から「産地の価値創造を担う茶業経営体の育成」として、経営発展に意欲的な経営者の育成・支援を課題としています。これらを進めるツールとして、生産者のGAPの導入支援に取り組んでいます。

2. 活動内容（詳細）

三重県では平成15年頃から「環境にやさしい安全安心な伊勢茶づくり運動」として、製茶工場の工程管理手法の導入、GAP導入マニュアルの作成・実践、ISO22000認証の取得、モデル経営体の育成などを進めてきました。

当初、GAP指導員資格を有する普及員を中心に、GAPの推進・指導にあたってきました。現在は、GAP指導者の育成や、産地におけるGAPの推進体制の確立に取り組んでいます。

普及活動におけるGAP指導の目的は、農業者の継続的な経営安定と発展です。このためには生産物の安全性と高収益性確保は勿論のこと、長期に渡り生産を継続するために生産環境の保全や労働者の健康管理や労働安全が欠かせません。

GAP導入を目指す農業者の中には、認証取得を急ぐ方も少なくありませんが、支援方法で、研修会、ワークショップ等に時間をかけ、経営体が個々に応じた管理手順書づくり、圃場、作業場などの危害把握や改修ができるよう研修を行い、経営で生かせるGAP導入を目指しています。



ワークショップ



GAP研修会

3. 具体的な成果

- ・ GAP の導入を支援し、認証取得者は増加しています。
- ・ 関係機関と連携し、専門農協職員による指導体制が確立しました。

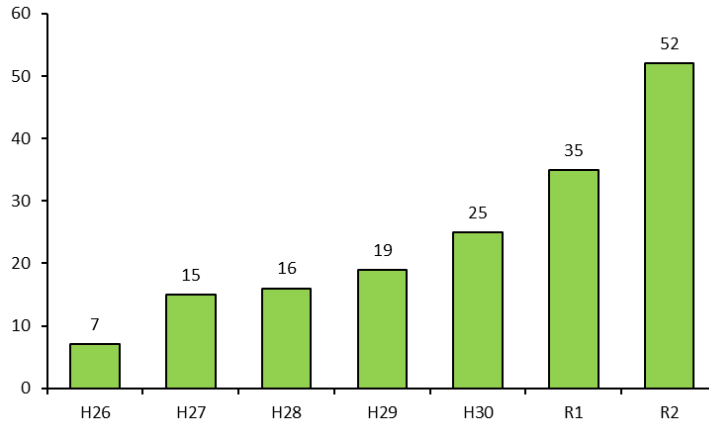


表 茶生産者の GAP 認証取得件数

4. 農家等からの評価・コメント

短期でなく長期計画として事業体への支援を検討していること、単なる第三者認証取得にとどまらず、それを経営管理の改善につなげることを課題としている点がよい。(外部評価委員コメントから)



5. 普及指導員のコメント

よく「お金かけてGAPを取得しても茶の価格に繋がらないのでは」と言われる。我々も認証取得が目標にならないように、経営管理のツールとしてGAPを使いこなすように意識づけしている。

また、「機械の点検項目を行うことで機械が壊れずに済んだ」、「農薬の在庫管理で効率化できた」などの声もある。GAPに取り組むことで、経営の効率化、さらには、製品の信頼性向上、安定生産、輸出などのサイクルで経営発展に繋がればと思う。

中央農業改良普及センター 革新支援専門員

6. 現状・今後の展開等

営農指導員や専門農協職員など、現場でGAPを推進する人材の育成により推進体制を強化して取り組みます。